

歳出予算事業概要書

款	09 消防費	前年度	前年度	各課	調整結果額	所属課コード	102000000					
項	01 消防費	当初予算	現計予算	要求額	うち復活額	一般財源	所属課名	総務課				
目	01 非常備消防費	63,684	68,596	64,840	63,995	0	0	内線番号				
大 事業	001 非常備消防費							実施計画	実施計画計上額			
中 事業	00		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	部				
小 事業	00	財源内訳	0	0	0	12,000	51,995	章				
細 事業	0							節				
								細 節				
1. 事業の概要と必要性					節		本年度の財源内訳					
<p>(1) 事業の概要 常備消防と連携し、市民の生命、身体及び財産を火災から保護するとともに、水火災または地震等の災害を防除し、これらの災害の被害を軽減することを任務とする米子市消防団の管理運営にあたっての経費であり、事業内容は以下のとおりである。 水火災、その他の災害時における警戒、防御及び救急救護 各種研修・訓練による技術・知識の向上及び防火思想の普及徹底 消防団員に係る退職報償金の支給及び公務災害補償</p> <p>(2) 事業効果 地域における第1線の防災機関である消防団のより一層の充実を図る効果がある。</p>					区分		金額		財源 款 項 目 節 細 節			金額
					1 報酬	14,587	諸収	21	03	03	02	001
2. 根拠法令					5 災害補償費							
消防組織法第15条の2により、消防団が設置されている。					8 報償費	12,130						
3. 用地の状況					9 旅費	22,294						
4. 基本計画との関連					10 交際費	50						
5. 本年度の計画効果					11 需用費	1,834						
<p>事業計画 消防団員の報酬及び費用弁償の支給 消防団員にかかる退職報償金の支給及び公務災害補償 消防団員にかかる制服等の貸与 各種研修・訓練の実施</p>					12 役務費	3						
					14 使用料及び賃借料	100						
6. 財源の説明					19 負担金補助及び交付	12,967						
					22 補償補填及び賠償金	30						
<p>(1) 財源の説明 退職報償金受入金 400,000円×25人=10,000,000円 500,000円×4人=2,000,000円</p> <p>(2) 合併協定項目等 報酬・費用弁償については旧米子市と旧淀江町のあいだで格差が存在したが、調整の結果報酬・費用弁償ともに鳥取新市並の水準とすることとした。報酬については平成17年度から19年度の3年間で鳥取新市並の水準に移行し、費用弁償については平成18年度より鳥取新市並の金額とする。</p> <p>(3) 事務事業評価の反映状況 上記以外については現状を維持する。</p>												
					目的別							
性質別												

### 歳出予算事業概要書

款 項 目	09 01 02	消防費 消防費 消防施設費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額			所属課コード	102000000					
						うち復活額	一般財源	所属課名	総務課						
			0	0	13,650	13,000	0	0	内線番号						
大 事 業	017	小型ポンプ積載車整備更新事業			13,650	13,000	0	0	実施計画	実施計画計上額					
中 事 業	00				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源						
小 事 業	00				財源内訳	0	0	10,800	0	2,200					
細 事 業	0					0	0	10,800	0	2,200					
1. 事業の概要と必要性						節			本年度の財源内訳						
米子市消防団では全27分団中8分団については小型ポンプ付積載車を配備している。小型動力ポンプは昭和56年度から63年度にかけて、また、その積載車は昭和63年度から平成元年度にかけて整備したものであり(車尾分団についてはポンプ、車両とも平成16年度に更新)、ポンプ・車両ともに老朽化が進み、出動態勢に支障をきたしかねない状況である。平成18年度より3年間で、老朽化が進んでいる7分団の小型動力ポンプ、ポンプ積載車について更新整備する。						区分		金額		財源		款 項 目 節 細 節		金額	
						18	備品購入費	13,000		地方	22	01	01	01	005
2. 根拠法令															
3. 用地の状況															
4. 基本計画との関連															
5. 本年度の計画効果															
(1) 事業計画															
小型動力ポンプ付積載車 2台購入(福米東分団、河崎分団に配備)															
福米東分団 小型動力ポンプ 昭和56年9月13日 購入															
河崎分団 小型動力ポンプ積載車 昭和63年3月25日 購入															
河崎分団 小型動力ポンプ 昭和56年9月13日 購入															
河崎分団 小型動力ポンプ積載車 平成元年3月3日 購入															
(2) 事業効果															
小型動力ポンプ付積載車を更新整備することにより、火災現場での効率的、効果的な消火活動につながり、地域住民の生命、身体の安全・財産の確保に資する。															
6. 財源の説明															
(1) 消防庁の実施する「防災基盤整備事業」(起債事業 充当率90%、その元利償還金の50%に相当する額については、後年度、普通交付税の基準財政需用額に算入)として申請を行い、一般財源の負担軽減を図る。															
防災基盤整備事業(起債)															
(6,800,000 - 800,000) × 0.9 × 2台 = 10,800,000円															
小型動力ポンプ付積載車購入予定金額6,825,000円(1台分)のうち、825,000円は起債対象にならない消耗品的な要素の強い車両装備品の代金。															
(2) 事務事業評価の反映状況															
事務事業評価に基づき、計画的・効率的に更新整備を図る。															
目的別															
性質別															

歳出予算事業概要書

款	09 消防費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額		所属課コード	102000000					
項	01 消防費				うち復活額	一般財源	所属課名	総務課					
目	02 消防施設費	0	0	1,680	0	0	内線番号						
大	021 地域防災力向上対策事業						実施 計 画	部	実施計画計上額				
中	00	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他		一般財源					
小	00			0	0	0		960					
細	0		0	300	0	0		960					
1. 事業の概要と必要性 米子市消防団27分団のうち11分団が消防ポンプ自動車、8分団が小型動力ポンプ付積載車を保有しており、消防活動・訓練に使用する消防ホースはポンプ車については30本、小型ポンプ付積載車については20本を目安に整備を図っている。活動中に破損したホースについても米子消防署等の協力も得ながら可能な限り補修して使用しているが、慢性的にホースの数が不足している状況である。火災時等の活動に支障をきたすことのないよう、鳥取県の「地域防災力向上対策事業交付金」(17年度までの「消防団活性化推進補助金」を組替え)を活用し、消防用ホースの整備を図る。					節		本年度の財源内訳						
					区分	金額	財源	款	項	目	節	金額	
					11 需用費	1,260	都道	16	02	01	01	032	300
					地域防災力向上対策事業交付金								
2. 根拠法令													
3. 用地の状況													
4. 基本計画との関連													
5. 本年度の計画効果 消防用ホース購入 @40,000×24本×105%=1,008,000円					6. 財源の説明 (1) 財源の内訳 地域防災力向上対策事業交付金 300,000円 それ以外の部分は一般財源より支出する。 (2) 事務事業評価の反映状況 消防団の必要な装備の維持にとまなうもので、事務事業評価に基づくものである。								
目的別 性質別													